

みはまネットの活動から

市民ネットワーク 意見交換会

～ 7月2日(木)午前10:30～12:00

打瀬パティオス22番街集会所にて開催～

松井かよ子が市議になって初めての質問を終え、議会報告と意見交換会を開きました。参加者との意見交換会では、市のホールやセンターの指定管理について話しました。身近な施設なので利用している人もいて、また図書館や公民館など身近な施設の利用についても、「蔵書を増やして欲しい」「使い勝手をよくして欲しい」等の要望が寄せられました。参加した人からは、市の仕組みや動きが分ってよかったとの感想がきかれました。

これからも皆さまの意見を聞きつつ、市政に反映していきたいので、日頃疑問に思っている事など、声をお聞かせ下さい。(幕張西 秋山)



要支援1,2の方の福祉サービスの行方 千葉市の動き

要支援1,2の方の生活支援を、社協の地区部会や自治会のたすけあい、市民団体、NPOなどにも担ってもらおうという介護保険の見直しです。やっと千葉市でも動きが始まりました。国に先駆けて28年度から実施すること。早めの取り組みは悪いことではありませんが、いくつかの問題があります。

市民ネットワークでは、千葉市に対し地域にどのような福祉グループやNPOが存在しているののしっかり把握することがまず必要と伝えてきました。しかし、調査は行なわれないうまま3月に研究会が作られ、生活支援コーディネーターの募集が始まりました。そしてやっと7月に入ってからNPOへのアンケートが始まりました。

市民ネットワーク市民事業プロジェクトでは昨年市に先駆けて43団体の調査を行い報告をまとめました。千葉市でこれから選ばれる生活支援コーディネーターは、要支援1,2の方々が安心して生活できる地域の実現のために、市民の生活に密着した助け合い団体などから選任されることが望ましいと思っています。(磯辺 岩橋)

食育サークルぼれぼれ ハalloween案内

10月31日はハalloween本番当日。市民ネットワークみはまの食育サークル「ぼれぼれ」と「えいごでオカチリマジック」がコラボして、最高のハalloweenを演出します！ マジックショーやパンプキンのカービング(ジャック・オ・ランタン)、そしてかぼちゃを使ったおやつなど盛り沢山の内容です。どんな trick or treatが登場するかはお楽しみに！ 大人も子どもも仮装してお越し下さい。

日時：10月31日(土)午後3時半から5時

場所：パティオス22番街 集会場

(打瀬中学校正面入口前)

参加費：大人500円、子ども無料 おやつ付き、託児なし(お子さんと一緒に参加ください)

定員：30組

申し込み：

市民ネットワークみはま事務所

【TEL/FAX】278-5005

【E-mail】mihama@chibanet.jp



ジャック・オ・ランタン

戦争の話をお聞かせ下さい

今年には戦後70年。しかし国会では安全保障関連法案が審議され、集団的自衛権の行使を法的に容認しようとする動きが進んでいます。戦場で戦うことだけが戦争ではありません。戦争は普通の市民の生活を脅かす行為であり、当たり前前の暮らしが一瞬にして破壊されてしまいます。70年前

に先人が被った悲惨な記憶を私たちはしっかりと受け止め、後の世代に語り継ぐ責務があります。市民ネットワークみはまでは、戦争の記憶を語ってくださる方を募集しています。子どものころの曖昧な記憶でもかまいません。ぜひ声をお聞かせください。ご都合のよい場所に伺います。詳細は、みはま事務所まで(278-5005)

Tさん(磯辺在住、男性)の体験談

1 1945年8月は何歳でどこにいましたか？

7歳、ソウル(京城)

2 そのときどんな動きがありましたか？

父は朝鮮総督府の学校で教員をしており、大日本帝国が接収した邸宅に家族で暮らしていた。日本が戦争に負けて、父母、弟、2人の妹とともに着の身着のままブサンから別府への引き揚げ船に乗って帰国した。まったくの無一文で、農家で食糧を分けてもらいながら戦後の暮らしを始めなければならなかった。

3 そのときどんなことを考えていましたか？

ソウルでは、戦争に負けた途端、「敵国人！」といじめられたが、味方になってかばってくれる人もいた。そんなときはうれしかった。世の中にはいろいろの人がいて、人間関係は簡単にはいかないことを知った。

4 今その時代を振り返ってどう思いますか？

父は当時のことを何も話さずに亡くなった。日本軍が現地でやっていたことなどを知っていたようだが、当時は大日本帝国・朝鮮総督府の教員としての自負があった。戦後は一転、ひどいことをしてしまったとの念に駆られていた。

5 若い世代へのメッセージを

戦争自体は短い期間であっても、賠償を含めて、戦後処理にはものすごい時間と労力を費やさなければならぬ。真面目な人柄だった父にとっては自分のしてきたことの反省を含め、本当に辛い人生だったのではと思う。若い人々には、世間や家庭の動きに翻弄されず、自分の世界をしっかりと生きて欲しい。